

【令和3年度 GIGA校内研修推進リーダー研修】 R3.9.21

GIGAスクールタブレット を使った研修の取組

小松市立木場小学校

篠岡 武迪

山崎 幸代

小松市で活用している主なソフト

■ SKYMENU Class

写真や動画の撮影機能、画面保存の機能、Microsoftよりもシンプルで簡単なプレゼン機能等、クラウドにデータを保存でき共有が可能。

■ スクラッチ

プログラミング学習のソフト。NHK for Schoolに動画もある。主に5年生で活用。

■ ArTec (アーテック)

プログラミング学習のソフト。画面上だけではなく、手元の道具と連動してプログラムの動作を確認できる。専用の道具が必要。主に6年生で活用。

■ Qubena (キュビナ)

AI型の学習コンテンツ。9月から使用。主に4～6年生で活用予定。

取り組み・実践について

- ①職員会議後の三二研修会
- ②各学期に1回以上、実践記録の交流
- ③小松市教育センターのICTインストラクターを招いての研修会

取組・実践について①～職員会議後の研修～

GIGA スクール研修（6月）

GUGA スクール推進教師

発表ノート実践例①（5月後半）

教科：社会 単元名：国土の地形の特色・低い土地のくらし・高い土地のくらし

<内容>

単元の最後に、自分が学んだ中で大切だと思うことを発表ノートに資料をつけてまとめる学習を行った。時間は30分程度。残りの15分と後日テスト前に数名の児童に発表させた。

<条件>

- ・資料集や教科書の資料を必ず使う。
- ・短い言葉でまとめる。

国土の地形の特色

山地 73%

平地 25%

国土の地形の割合

山地の方が多い

山地について

山脈は、山脈は山脈を連続して、山脈の中にも山脈があります。

- 1つ目は、山脈-山脈は、山が列のように連なっている。
- 2つ目は、高地-山が、峰が広く連なる土地。
- 3つ目は、高原-標高が高くなる土地。
- 4つ目は、丘陵地-低く小さな山が連続している地形。

観光

月見の里

お祭り

くらしの工夫

配水設備

水害が起きた時、水を外に出す仕組みがある。

<所感>

- ・どうしても文が長くなってしまい、時間がかかる児童が多かった。
- ・紙やノートに新聞でまとめると、図や資料を書くことに時間がかかってしまうが、写真を撮るだけで資料を取り込めるので1時間かからずにまとめられるという利点がある。
- ・同じところを大切だと思う児童が多いことで、この勉強では何が大切なのかよくわかったと言った児童がいた。

発表ノート実践例②（6月後半）

教科：理科 単元名：ヒトのたんじょう

<内容>

調べ学習を行い、赤ちゃんの図をたくさん描くことに時間がかかることが予想された。そのため、調べたことを発表するときに、資料を提示したい児童が発表ノートを利用した。調べ学習の時間は2時間。

赤ちゃんの成長について

一目目

大きさが4mm

大きさが1cm

人のたんじょう

メダカと同じで精子と卵子がくっつくことを受精といいますが、くっついたものが受精卵という。

赤ちゃんは、約10か月生まれる赤ちゃんはお母さんのお腹の中で育つ。

人の誕生について

<所感>

- ・調べ学習で、複雑な図を写すことに時間がかからず、調べ学習に時間をそこまでかけなくてよかった。
- ・図があることで、児童は調べたことを説明しやすそうだった。
- ・発表ノートとは関係ないが、SKY MENUの機能を使うことで、調べ学習に必要なサイトを運ることができたため、スムーズに調べ学習に入ることができた。
- ・発表ノートとは関係ないが、イヤホンがあるので、動画視聴していても静かであった。

パワーポイント（5月後半）

教科：総合 単元名：米作り

<内容>

疑問に思っていることを調べ、PowerPointにまとめた。PowerPointを使うのは初めてだったため、使い方の説明に時間がかかった。（30分ほど）

<条件>

- ・話すことではなく、キーワードやとくに伝えたいことを書く。

米ばなれについて

お米は、日本にたくさん産出される。お米は、お米に育つまでには、お米の種をまき、お米の苗を育て、お米の穂を刈り取り、お米を脱穀して、お米をばなれさせる。

お米の種類について

お米は、日本にたくさん産出される。お米は、お米に育つまでには、お米の種をまき、お米の苗を育て、お米の穂を刈り取り、お米を脱穀して、お米をばなれさせる。

農業

- ・害虫が稲につくのを防ぐ。
- ・雑草が生えるのを防ぐ。
- ・病気がでるのを防ぐ。

農業の使いすぎ

- ① 生物をいためる。
- ② 川の水がよこれる。

<所感>

- ・発表ノートでもそうだが、書く文章が長くなりがちである。
- ・発表練習の際に、別で原稿を作っている児童が複数いた。
- ・今回はPowerPoint作る練習として使ったので、この経験を活かし、どのようなプレゼンだと聞いている人がひきつけられるかということに着目し、次回以降のプレゼンを作らせたい。
- ・SKY MENUの機能（発表ノートやシンプルプレゼンなど）は優れているが、児童が今後の日常生活で使うものではないので、高学年はMicrosoftの製品（Word・Excel・PowerPoint）を使っていくといいのではないかと感じた。

取組・実践について② ～実践記録の交流

SKY MENU Class 授業実践記録

(木場小)学校 名前() :

①	学年・教科	1年・図工
②	単元	チョッキンパツでかざろう
③	場面	作品鑑賞の場面
④	活用の仕方	自分の作品全体や見てほしい部分を写真に撮り、全員のタブレットとテレビ画面で共有し、順番に作品について紹介したいことを話す。
⑤	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの使い方の学習ができた。 ・密を避けて、全員の作品を鑑賞することができた。 ・友達の作品が順に映るたびに、「ここがすごい！」「きれい！」など児童の素直な感想がたくさん出た。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・1人ずつの紹介なので時間がかかる。 ・カメラがうまく使えず、写真がぼやけている児童もいた。

SKY MENU Class 授業実践記録

(木場小)学校 名前() :

①	学年・教科	6年・社会
②	単元	「縄文のむらから古墳のくにへ」
③	場面	縄文時代の様子と弥生時代の様子を比べる
④	活用の仕方	教科書にある挿絵を発表ノートに貼りつけて背景化し、気づいたところに印をつけさせた。また、発表するときにその児童の画面をみんなで共有した。
⑤	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・答えが書いてある教科書を使用せずに、児童に考えさせることができた。 ・一人ひとりがじっくりとカラーの絵を見ることができた。 ・印を簡単につけることができたので、児童の気づきをすぐにみんなで共有することができた。
	課題	・児童の手元に残らない。

取組・実践について③

～ICTインストラクターを招いての研修～



研修を行ったことで何ができるかわかったと感じる人が増えた
半面、できることが多くて自信がなくなった人もいました。

研修後のアンケート ～タブレット活用のメリット～

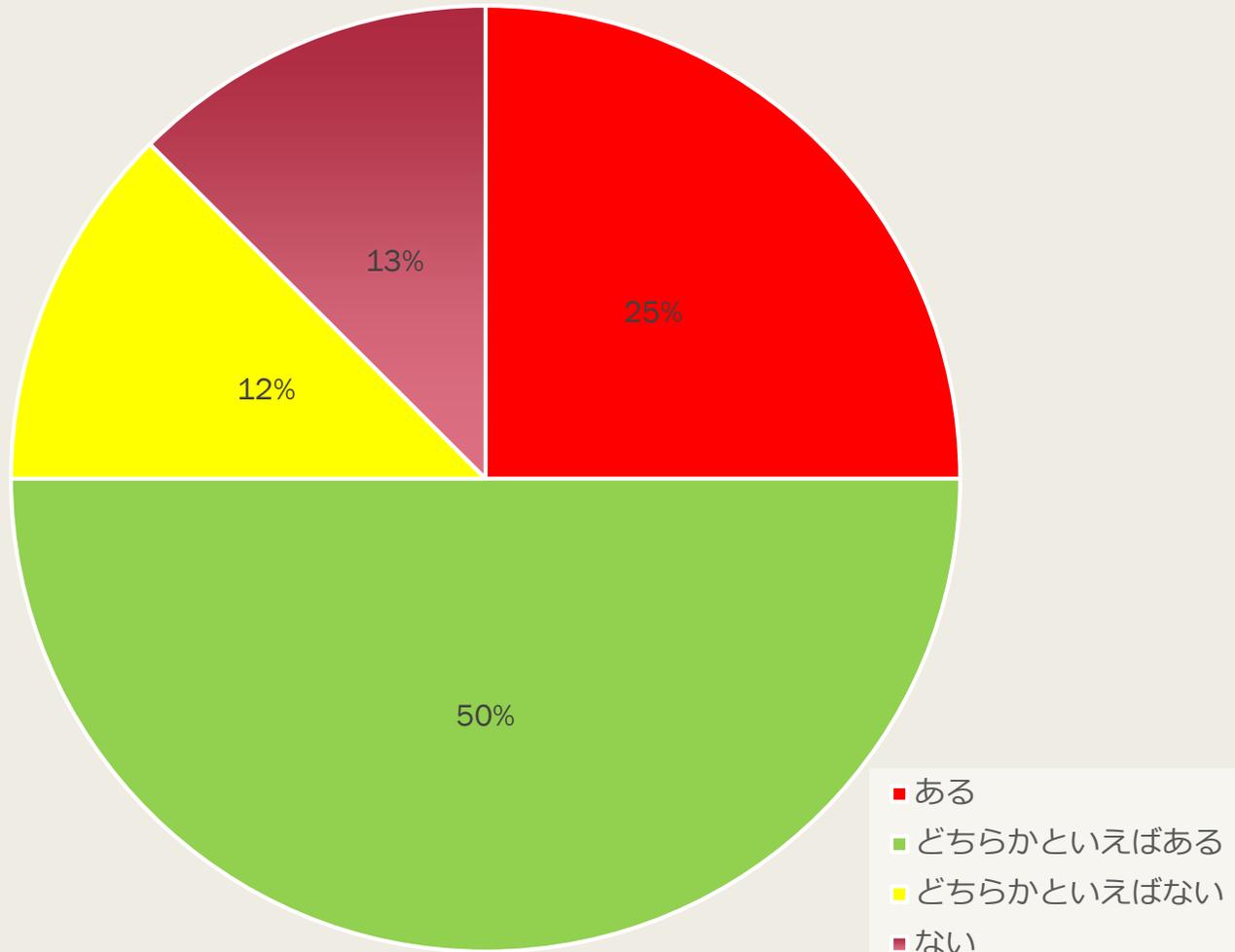
- 児童が興味関心を持ちやすく児童の意欲につながる。
- 児童それぞれの考えや教師が示したいことをいろいろな方法で共有できる。
- ノートに書くのではなく、タブレット1つで完結するので机の上もすっきりする。
- 画像や動画など視覚的・聴覚的に分かりやすい。
- 間違った時に修正が簡単なので、失敗を恐れず作業できる児童が多い。
- データで残っていくので、下学年で作成したものも残しやすい。
- 字を書くことが不得手な児童でも、綺麗に作成できる。
- 体育など、動きのある活動も自分の目で確認、比較することができる。
- 1人1台あることで、他学年同時に調べ学習などができる。
- 社会科などで新聞を作ったりまとめたりする際に、写真を撮って貼ることができるので、時間短縮となる。
- ローマ字入力やタブレット機器の操作練習ができる。

研修後のアンケート ～タブレット活用のデメリット～

- 使い方の指導に時間がかかる。
- タブレットの出し入れが手間、教室に置き場がない。
- 不具合が起きた時、トラブルが起きた時の対処が不安。授業中は聞ける人がいない。
- 手書きパッドがあるとはいえ、低学年での活用が困難である。
- 物が高価なため、配慮が必要であり、安易に使わせづらい。
- セキュリティの関係上、校務用（職員室）のPCと直接つなぐことができず不便。
- 画面が映らないなどのトラブルが起こった際に、すぐに対応できない教員が多い。
(専門的なことも絡んでくるとだれもわからない)
- 機械トラブルを考えると、デジタルとアナログ双方の準備が必要で余計に手間がかかる。
- 成果物を評価し返すことが難しい。(コメントを入れるなど)
- ノートなどに書いた方が家で復習させやすい。
- 児童の視力の低下。

研修後のアンケート ～タブレット使用についての不安感～

GIGAスクールタブレットを使うことに不安がある。



- 使っている時に教師がわからないことが出てくる。
- 自分が十分使いこなせない。
- 低学年でどのように活用できるのかわからない。
- 機能はわかるが、実際の場面で自分が使いこなせるかどうか不安である。
- 機能はわかるが、どのような授業で活かせばよいか不安。

今後行う研修・取組の予定

- ①職員会議後の三二研修会
- ②各学期に1回以上、実践記録をもとに実践交流
- ③GIGAスクールタブレットを用いた授業参観
(授業実践交流)

【令和3年度 GIGA校内研修推進リーダー研修】 R3.9.21

GIGAスクールタブレット を使った研修の取組

小松市立木場小学校

篠岡 武迪

山崎 幸代